



教育目標：すすんで学び 心身ともに健康で 思いやりのある人になる

めざす学校像：①生徒の人格が尊重される学校 ②豊かな人間関係とより良い校風を育む学校 ③生徒の未来を見据えた学力を育む学校

めざす生徒像：「自己表現できる生徒・互いに認め合える生徒・粘り強く取り組む生徒」(令和6年度改訂)

めざす教師像：①生徒の人格と多様性を尊重する教師 ②より良い集団をつくり個々を育てる教師 ③授業を通して生徒の未来を明るくする教師

項目	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	分析コメント	改善策
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
豊かな人間性の育成	豊かな心	全教育活動とおとして、心育てる教育を推進し、いじめ防止教育の充実を図る。	①人権尊重を基盤とし、生徒一人一人の存在と多様性が尊重される集団を育む。 ②「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ防止教育を徹底する。 ③行事等とおして、互いを認め合い、よりよい校風を育む。	3	3	4	4	生徒・保護者評価が下がった。トラブルや悩みを抱えている生徒がいることが読み取れる。	アンケートや面談を活用して、相談しやすい体制を作る。「いじめ防止基本方針」の見直し・改訂、共通理解を図る。
	生活	認め合う姿勢を醸成し、社会的資質や行動力の向上を図るとともに、困難をしなやかに乗り越え回復する力を育む。	①基本的な生活習慣を確立する。(時間を意識した生活) ②挨拶の日常化を図る。(自然な挨拶) ③主体性をもって何事にもチャレンジさせる。(自主的な行動)	3	3	4	4	評価が下がっている。挨拶について生徒も教員も課題を感じていることが読み取れる。	生徒会活動を通して、生徒が主体的に挨拶できる雰囲気醸成する。教員自ら挨拶する姿勢を見せる。
確かな学力の定着	基礎	主体的・対話的で深い学びの実践とおして、基礎的・基本的事項の習得を図る。	①主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組む。 ②ICT機器の効果的な活用を推進する。 ③読書活動を充実させる。	3	3	3	3	基礎的・基本的な知識について、習得感を感じられていないことが読み取れる。	スモールステップでの指導、読書活動の充実とともに、評価について見直し、改善や丁寧な説明を行う。
	活用	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をもとに、思考力、判断力、表現力の向上を図る。	①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業改善に取り組む。 ②体験活動を取り入れた、探究的な学びによって自ら学ぶ力を育成する。 ③1人1台端末を活用し現代の諸問題を主体的に捉え解決しようとする意欲を育てる。	4	3	3	3	話し合いや協働的な活動ができていない、または効果的に働いていないことが読み取れる。	校内研修を充実させ、授業力向上に向けて、学校全体で取り組んでいく。
たくましい心身の育成	支援	特別支援教育の視点に立った、一人ひとりに応じたきめ細かな対応を充実させる。	①特別支援教育の視点に立った、指導・支援を全教員で実践する。 ②サポート教室の整備や関係機関との連携とおして、必要な支援を行う。 ③不登校生徒や保護者に寄り添い、課題の解決に向けて取り組む。	3	3	3	3	支援的な指導への理解が進み、すべての人を大切にする土壌ができてきたと見ることができる。	生徒・保護者の声に耳を傾け、寄り添った支援を更に充実させていくとともに、不登校対策にも取り組む。
	体力・安全	健康で安全に生活する力を育成する。	①生徒が上達し、運動が好きになるような保健体育の授業改善を実践する。 ②校内での取組や家庭で取り組める運動の周知とおして、運動習慣を確立させる。 ③安全指導、避難訓練等とおして、主体的に自他の命を守れるようにする。	3	3	3	3	生徒は体力向上を実感している。教員は情報や災害安全の取組に課題があると感じている。	体育的行事の充実を図るとともに、情報モラル教育や災害安全教育について、新たな取組を行っていく。
学校・家庭・地域の連携	特色	国分寺学の実施とおして、地域を考え、地域に貢献する生徒の育成を図る。	①9年間の学習活動の集大成として、3年生の国分寺学×SDGsプロジェクト探究学習を実施する。 ②3年生の国分寺学×SDGsプロジェクト探究学習では、体験と地域への貢献を必ず取り入れる。	4	4	3	4	3年プロジェクト発表により、国分寺学とのつながりを下級生が意識できたと見ることができる。	3年プロジェクト、SDGs講座を、国分寺人材をさらに多く活用したものにバージョンアップする。
	連携	コミュニティ・スクールとして学校・家庭・地域との連携・協働を進める。	①9年間を見通した系統的な小・中連携教育とおして、学力向上、生活指導の充実を図る。 ②国分寺型コミュニティ・スクールとおして、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく。	3	3	3	3	国分寺まつり出店により、具体的な取組について認知されてきたと見ることができる。	CS3年目として、地域とのつながりを生かした取り組みをさらに進めていく。

解説

この「自己評価書」は、生徒・保護者対象のアンケート結果を基に、努力指標と成果指標を分析し、改善策を提示したものです。

「努力指標」とは、学校側の努力状況です。4（ほとんど達成した）、3（達成できた部分が多い）、2（達成できない部分が多い）、1（ほとんど達成されていない）となります。

「成果指標」とは、生徒および保護者対象のアンケート結果（ABCD4段階）を総合した評価です。AB合計の%数値が、90%以上で4、70%以上で3、50%以上で2、50%未満で1となります。